放たれた暴徒

１７８２年、ヘッセン・カッセル伯爵の莫大な財産を巧みに「手に入れた」アムシェルは、ヴァイスハウプトを呼び出した。当時、ヴァイスハウプトは身分も低く、義妹の中絶手術（法律で禁じられていた）代の工面に四苦八苦しながら、乞食のような暮らしをしていた。だが、アムシェルと会って話し合いをもったあと、**彼は**自由に遣える金を何百万フランも所持してパリに現れ、**少なくとも３万人の凶悪犯を“輸入”して、パリの貧民窟に待機させた。**そしてドイツでも同じことを行い、全ての準備が完了し、お膳立てが整えられると**、１７８９年、凶悪犯はパリの町に放たれた。**

『ロスチャイルドの密謀』９０頁